

「指導者になって7年間、今感謝の気持ちを伝えたい」

今年の4月に下村隊長と交替して副長をしています。

私も何かを伝えたいと思い、BVS隊の指導者になってからの事を思い出してみました。

最初は、川辺隊長のもとで副長補、副長をさせていただきました。

この時の指導者は、川辺隊長とその前の隊長と私の3人だけでした。

スカウトと一緒に遊ぶだけで、たいした事は出来ていませんでした。

川辺隊長は隊活動のプログラムや話を一人で何でも出来る隊長でありました。

この時、こうすれば良かった事があります。

就職活動をして隊活動を休んでいた事があって、川辺隊長の行動や隊活動での内容、隊長との会話、隊全体を把握してませんでした。もし、積極的に隊活動に取り組んでいたら、団委員長達に心配や迷惑をかけずに済んでいたと思います。今更言いますが、本当は自分も一級章や菊章、隼章、富士章を獲りたかったです。獲っていたスカウトを見て、とても羨ましかった。

24歳になった頃、浜嶋団委員長と吉田団委員から「隊長をしてみないか」と声がかかりました。この理由は、川辺隊長は7年間隊長をしていましたが、仕事が忙しくなってきたことで活動が難しくなってきました。それから、私はボーイスカウトをずっと続けたいと思っていたことに、隊長の経験してみてもどうかと考えてくれたからです。母もボーイスカウト活動は、いつまでも続けられるし、地域の仲間といつまでも続けられると考えていました。

でも、大きな問題がありました。

川辺隊長は仕事で忙しく隊活動に出れない状況のため、指導者は私1人だけで不安がありました。隊長になるには、私一人の力では無理です。

そこで、カブスカウトの時に、「将来私が隊長になる時に手伝って下さい」とお願いをしていた隊長がいます。このことは、ずっと心に思っていました。

ボーイスカウトの隊活動で腕を負傷したとき、その隊長は仕事前にお見舞いに来てくれたこともあります。

私は、その人にサポートをお願いしました。

その人は、そのとき2団を退団していて、私の為に一生懸命考えてくれました。

結果は、私の為に2団に復帰して、副長になってくれました。

これまで、副長のときは、工作と芋掘りの2つの隊集会の計画と報告をただけでした。

そこで、元隊長に計画書の作成方法を指導して貰いました。この時はパソコンを持ってなかったので計画書と報告書は全部、手書きでした。ある時は、カブスカウトの時に登った

ロックガーデンと一緒に登り、ロープワークの指導を受けたり、下見の方法を教えてもらいました。

その隊長の言葉があります。

- ・活動計画を作る為には、スカウトの為に作れ。
- ・言わぬが恥、聞かぬは一生の恥。

私は、しっかりする為に厳しい指導を受けました。

他の指導者として、浜嶋団委員長と吉田団委員は、隊に登録せずにいつもビーバー隊に参加してくれました。もちろん、川辺隊長も副長でサポートしてくれました。

隊長になって気づいた事は、隊長と副長は全然やる事が違うことです。

隊長はスカウト、指導者、保護者など隊全体を考えなければならない。

副長はプログラムの担当、隊活動を盛り上げたり、スカウトの様子を見る役割があります。

このことで、私一人では出来ないことは十分わかりましたが、多くの副長に支えられました。

私達は、毎月きちんとリーダー会議を行いました。そこで、予定通りに、プログラムの計画を立てて、下見もしました。

普通は、こんなにサポートしてもらえないことはありません。

隊長になった時は、これが当たり前とっていました。

お陰で、しっかりと隊長の役割を果たす事が出来ました。

それと隊長1年目には、浜嶋団委員長が豊中市青少年指導者表彰に応募してくれて、私を表彰させてくれました。

毎回、ビーバー隊の活動はうまくできました。スカウトの数も少しずつ増えました。

スカウト達に、「たいちょう」って呼ばれた時は嬉しくて照れました。

私は、隊長になってから、うれしくて **Facebook** で地区のビーバー隊の隊長たちに活動の事を書きこみました。

ある他の団の隊長から、「2団はしっかり活動ができているよね。」と言われました。

その時、有頂天になっていた私は多くの副長に支えられて隊長が出来ていると気づきました。

お正月や耐寒ハイキングで他の団のビーバー隊と合同隊集会をした事がありました。他の隊指導者やスカウトとなかよく遊びました。

ここで指導者になって良かった事はボーイスカウトの時の班で一緒にいたスカウトが隊指導者になってスカウト達に指導したり、団会議に参加している所が嬉しかった。

2団のスカウト、指導者だけでなく、色んな地区の指導者達に出逢えて良かった。

ボーイスカウトに入団しなかったら、これまで指導して頂いている浜嶋団委員長やスカウト時代にお世話になった指導者達、今のスカウト達に出逢えなかったと思います。

「スカウトは感謝のころをもつ」。

私は、心で感謝の気持ちを持ちましたが、まだ手伝ってくれた先輩にお礼を言っていません。

この文章を書く時に改めて思いを強くしました。

今からでもお礼を言わないといけないと思います。

気持ちの整理が出来たら、心を込めてお礼を言うつもりです。